

粕谷和夫の観察日記。人や鳥は厳寒の中で着ぶくれ中ですが、蠟梅（ロウバイ）は早くも冬のコートを脱いで花を咲かせ、ほのかな香りを振りまいていました。この写真は1月16日の八王子・長池公園で、花の中心部が赤紫色をしているロウバイですが、ほかに中心部が黄色や白のソシンロウバイという園芸品種があり、こちらの方がよく見かけます。

紅葉台



新聞

第170号
2025年
2月22日
発行人：関谷 孝

地元探鳥会 富士森公園から緑町公園へ

年明けの1月15日。快晴で15度になるという暖かな日でした。15名参加。八王子市の中心部に位置する富士森公園で集合。ここは、広大な公園です。公園内には野球場、陸上競技場、テニスコートなどのスポーツ施設が充実しており、スポーツを楽しむのに最適な場所です。また、こども広場には大きな複合遊具やターザンロープがあり、親子連れにも人気です。春には桜の名所としても知られており、多くの人々が花見に訪れます。夏には「八王子まつり」が開催され、花火大会も行われるなど、一年を通じて様々なイベントが楽しめるところです。ここでは毎朝ラジオ体操が行われています。八王子市民にとってなじみのある公園です。京王山田駅とJR西八王子駅のほぼ中間点にあります。

まずはここから探鳥会が始まりました。よく整備されている公園なのですがヤマガラ・シジュウカラ・エナガ・メジロなどの混群を見ることが出来ました。モズがその小鳥たちの後からやってきたのは獲物を狙ってのことでしょうか。

また、富士森公園には「台町浅間神社」という神社があります。この神社は、富士塚の上に鎮座しており、安産や子授け、火難除けのご利益で知られています。また、毎年7月31日から8月1日にかけて行われる「だんご祭り」も有名のようです。神社の歴史は古く、慶長年間（1596年～1613年）に創建されたと伝わっています。境内には豊川稲荷や地藏堂もあり、地域の人々に親しまれています。かつてはここから富士山が見えたそうですが今は木々や建物で見えませんでした。会長さんが神社の入り口にある大きな木々がツミが巣を作っていたと教えてくれました。



そのあとは、緑町霊園に行きました。途中可愛い保育園児にあいました。これから富士森公園に遊びに行くところです。また、途中目黒さんに美味しいパン屋「パンドラ」（天然酵母）が近くにあるのを教えてもらいました。緑町霊園は、八王子市緑町に位置する市営霊園です。大正10年に開園され、八王子市内で最も古く、最大の面積を誇る霊園です。霊園内は自然豊かで、晴れた日には富士山を望むことができます。この日は残念ながら富士山は雲に隠れていました。でも富士山が大きくはっきり見られる穴場です。昨年によく見えましたよ。ここのお寺を見学するとなんと入り口には「直入院」と書かれていました。誰かが「ちよくにゅういん」と読んでみんなで笑ってしまいました。・ ・ 墓地の裏手には少



年院との間に「山田川」が流れています。谷のような地形を流れる小さな川です。そのため自然のまま残されている貴重な川です。日陰になっている落ち葉の陰にシロハラがいました。みんなで見ると誰かが発見してくれます。日陰のため思ったほど野鳥を発見できませんでした。木々が開けて日の当たっているところにたくさんのエナガがやって来ました。ジジと鳴きながら私たちのすぐ近くにやって来ます。エナガは小さくて尾羽が長く可愛い鳥です。北海道では「シマエナガ」と呼んで可愛らしい鳥として有名ですが、普通のエナガも負けていません。まるでみんなが遊んでいるかのような様子でした。すぐ近くで長いこと鳴いていて嬉しかったです。このようなところは河畔林というのだと粕谷会長が教えてくれました。



さて、八王子市緑町にある自然豊かな緑町公園は山をそのまま利用しており、散歩道が張り巡らされています。高いところには芝生広場が広がっており、ウォーキングやピクニックに最適です。栗原さんが「子供の頃この道を通って湯殿川に遊びに行った。50年ぶりで懐かしい」と話していました。その近くにかつてカワセミ会の会員だった方の家があり偶然にもばったりとお会いできました。会長さんとツーショット。野鳥



もそうですが偶然の出会いに感激です。台地の上には畑が広がっています。桑の木が人の背ほどの高さになってたくさん残っていました。



会長さんが「1メートルほどの高さで木を切るのは霜よけのため」と教えてくれました。八王子は桑都と言われるほどですので桑の木が残っています。ちょうど16号線の突き当りで鳥合わせをしました。今回は19種。ベストはエナガ・シロハラ・ジョウビタキです。どれも人気の鳥です。

それにしてもみんなで探鳥会をすると自分一人では見つけられない野鳥を見つけることが出来ます。その土地の歴史や人々の生活も知ることが出来ます。自分ではいかなだろと思えるところにも参加すると思わぬ発見があって楽しいです。それに歩くことで運動にもなります。同じ目的で集った人たちと知り合いお話するのもとても楽しいです。こんな風に「みんなで楽しく歩くのも探鳥会の良さ」だと思いました。

粕谷和夫の観察日記より

上記写真のエナガは、月15日の八王子・富士森公園で約15羽の群れの中の1羽です。一緒にヤマガラ・シジュウカラ・メジロも交じる混群でした。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。